

北陸地域の総合経済動向 (2025年2月指標を中心として)

2025年4月22日

経済産業省 中部経済産業局
電力・ガス事業北陸支局

- 注) 1. 比較は、断りのあるものを除き、2025年2月実績値による。
2. 「P」は、速報値。
3. 「北陸地域」とは、富山、石川及び福井の3県を指す。
4. 前月比および前年同月比は、増減率(%)。

次回公表予定日 2025年5月22日(木曜日)

(お問合せ先)

中部経済産業局 電力・ガス事業北陸支局

北陸経済企画調査室長 野村

担当：藤木、土田

電話：076-432-5590(直通)

北陸地域の総合経済動向 (2025年2月指標を中心として)

北陸地域の経済動向は、持ち直しの動きに弱さがみられる。

総括判断は、2025年2月発表以来、3か月連続。

- 生産は、弱含んでいる。
- 個人消費は、緩やかに改善している。
- 設備投資は、全産業、非製造業では前年度を上回り、製造業では前年度を下回る計画となっている。
- 公共投資は、請負金額が10か月連続で前年を上回る。
- 住宅投資は、新設住宅着工戸数は6か月連続で前年を上回る。
- 貿易は、輸出は2か月ぶりに前年を下回り、輸入は5か月連続で前年を上回る。
- 雇用は、新規求人数は2か月ぶりに前年を下回り、有効求人倍率は前月と同値であった。
- 企業倒産は、企業倒産件数は5か月ぶりに前年を下回る。

先行きについては、能登半島地震・奥能登豪雨、米国の関税措置、海外景気の動向、為替、エネルギー・原材料価格、商品価格の動向等による影響などを注視していく必要がある。

判断の推移

公表年		2024年	2024年	2025年	2025年	2025年	2025年
公表月日		11月22日	12月23日	1月22日	2月21日	3月24日	4月22日
実績月		2024年9月	2024年10月	2024年11月	2024年12月	2025年1月	2025年2月
総括判断		緩やかに持ち直している (6か月連続)	緩やかに持ち直している (7か月連続)	緩やかに持ち直している (8か月連続)	持ち直しの動きに弱さがみられる(↓)	持ち直しの動きに弱さがみられる (2か月連続)	持ち直しの動きに弱さがみられる (3か月連続)
生産 (総合)		持ち直しの動きに一服感がみられる (2か月連続)	持ち直しの動きに一服感がみられる (3か月連続)	持ち直しの動きに一服感がみられる (4か月連続)	弱含んでいる(↓)	弱含んでいる (2か月連続)	弱含んでいる (3か月連続)
生産の 主要業種の 判断推移	◎化学工業	持ち直しの動き (8か月連続)	横ばい(↓)	横ばい (2か月連続)	横ばい (3か月連続)	横ばい (4か月連続)	横ばい (5か月連続)
	◎電子部品・デバイス工業	下げ止まり (3か月連続)	下げ止まり (4か月連続)	下げ止まり (5か月連続)	弱い動き(↓)	弱い動き (2か月連続)	弱い動き (3か月連続)
	◎生産用機械工業	弱含み (2か月連続)	持ち直しの動き(↑)	持ち直しの動き (2か月連続)	持ち直しの動き (3か月連続)	弱含み(↓)	弱含み (2か月連続)
	◎金属製品工業	下げ止まり (5か月連続)	下げ止まり (6か月連続)	下げ止まり (7か月連続)	弱含み(↓)	弱含み (2か月連続)	弱い動き(↓)
	◎繊維工業	下げ止まり (5か月連続)	下げ止まり (6か月連続)	下げ止まり (7か月連続)	下げ止まり (8か月連続)	下げ止まり (9か月連続)	下げ止まり (10か月連続)
個人消費		緩やかに改善している (6か月連続)	緩やかに改善している (7か月連続)	緩やかに改善している (8か月連続)	緩やかに改善している (9か月連続)	緩やかに改善している (10か月連続)	緩やかに改善している (11か月連続)

(注) 下線部は、先月からの変更箇所。

動向の推移

公表年		2024年	2024年	2025年	2025年	2025年	2025年
公表月日		11月22日	12月23日	1月22日	2月21日	3月24日	4月22日
実績月		2024年9月	2024年10月	2024年11月	2024年12月	2025年1月	2025年2月
需要の動向	◎設備投資	全産業、製造業、非製造業において前年度を上回る計画となっている	全産業、製造業、非製造業において前年度を上回る計画となっている	全産業、製造業、非製造業において前年度を上回る計画となっている	全産業、製造業、非製造業において前年度を上回る計画となっている	全産業、製造業、非製造業において前年度を上回る計画となっている	全産業、非製造業は前年度を上回り、製造業は前年度を下回る計画となっている
	◎公共投資	請負金額は5か月連続で前年を上回る	請負金額は6か月連続で前年を上回る	請負金額は7か月連続で前年を上回る	請負金額は8か月連続で前年を上回る	請負金額は9か月連続で前年を上回る	請負金額は10か月連続で前年を上回る
	◎住宅投資	新設住宅着工戸数は5か月ぶりに前年を上回る	新設住宅着工戸数は2か月連続で前年を上回る	新設住宅着工戸数は3か月連続で前年を上回る	新設住宅着工戸数は4か月連続で前年を上回る	新設住宅着工戸数は5か月連続で前年を上回る	新設住宅着工戸数は6か月連続で前年を上回る
	◎貿易	輸出は2か月ぶりに前年を下回り、輸入は2か月連続で前年を下回る	輸出は2か月ぶりに前年を上回り、輸入は3か月ぶりに前年を上回る	輸出は2か月ぶりに前年を下回り、輸入は2か月連続で前年を上回る	輸出は2か月連続で前年を下回り、輸入は3か月連続で前年を上回る	輸出は3か月ぶりに前年を上回り、輸入は4か月連続で前年を上回る	輸出は2か月ぶりに前年を下回り、輸入は5か月連続で前年を上回る
	◎雇用	新規求人数は2か月連続で前年を下回り、有効求人倍率は前月から上昇した	新規求人数は3か月ぶりに前年を上回り、有効求人倍率は前月から上昇した	新規求人数は2か月ぶりに前年を下回り、有効求人倍率は前月と同値であった	新規求人数は2か月連続で前年を下回り、有効求人倍率は前月と同値であった	新規求人数は3か月ぶりに前年を上回り、有効求人倍率は前月から上昇した	新規求人数は2か月ぶりに前年を下回り、有効求人倍率は前月と同値であった
	◎企業倒産	企業倒産件数は2か月連続で前年を下回る	企業倒産件数は3か月ぶりに前年を上回る	企業倒産件数は2か月連続で前年を上回る	企業倒産件数は3か月連続で前年を上回る	企業倒産件数は4か月連続で前年を上回る	企業倒産件数は5か月ぶりに前年を下回る

1. 生産

生産は、弱含んでいる。

鉱工業生産の動向を指数（2月速報）でみると、化学工業、金属製品工業などが減少したことから、前月比1.4%減と5か月連続で低下となった。

前月比で低下に寄与した業種品目は、①化学工業（医薬品）、②窯業・土石製品工業（その他の窯業・土石製品）の順番となっている。

前年同月比は7.4%減と2か月ぶりに前年を下回った。

化学工業は、一時的に低下したものの、後発医薬品の需要が堅調に推移していることから横ばいとなっている。電子部品・デバイス工業は、一時的に上昇したものの、スマートフォン向け及び自動車向けに弱さがみられることから弱い動きとなっている。生産用機械工業は、一時的に上昇したものの、海外向けの需要が減少していることなどから弱含みとなっている。金属製品工業は、新設住宅着工戸数の低迷が続いていることからアルミニウムサッシなどが振るわず弱い動きとなっている。繊維工業は、衣類向けの需要は低調に推移しているものの、海外の自動車向けが堅調なことなどから下げ止まりとなっている。以上のことから、判断を据え置き3か月連続で「弱含んでいる」とした。

1. 生産

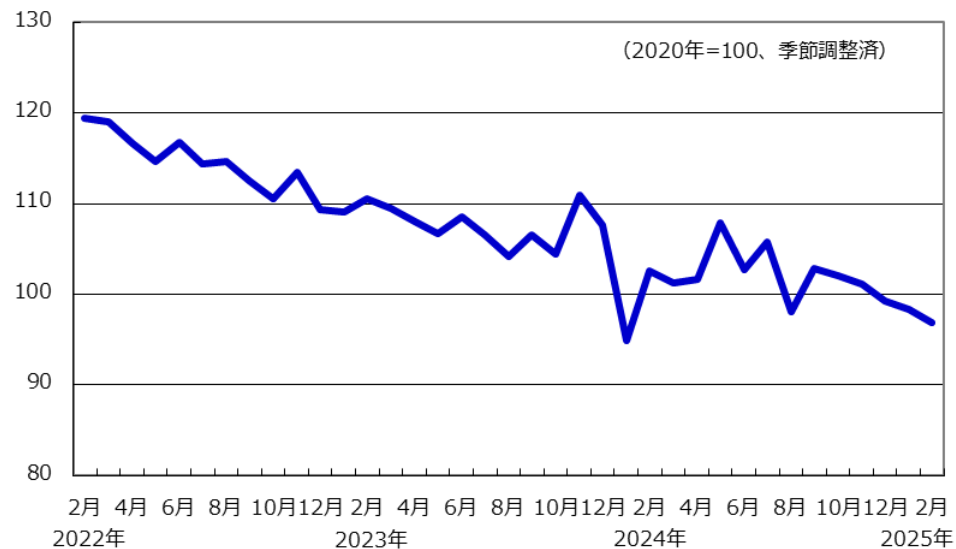
北陸地域

季節調整済指数		前月比	原指数	前年 同月比
2025年 1月	2025年 2月p		2025年 2月p	
98.3	96.9	▲ 1.4	94.3	▲ 7.4

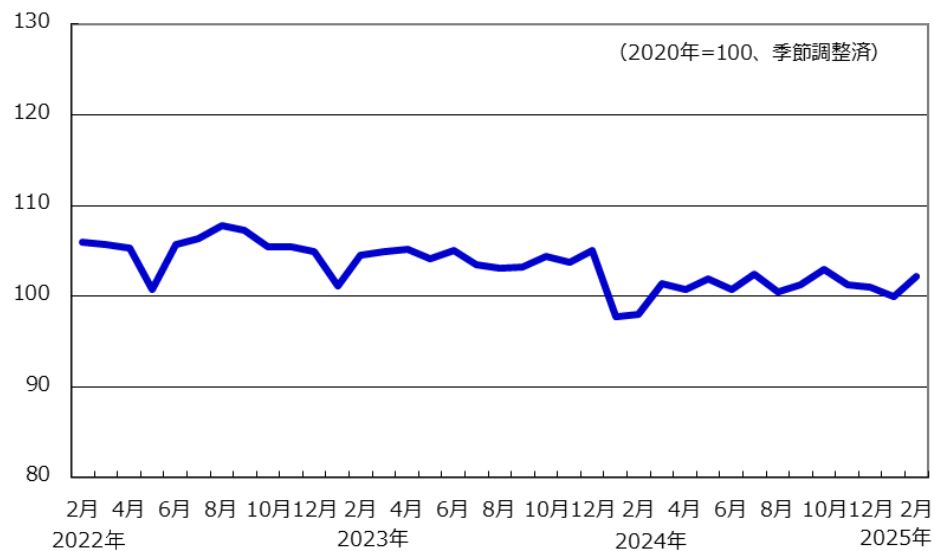
全国

季節調整済指数		前月比	原指数	前年 同月比
2025年 1月	2025年 2月		2025年 2月	
99.9	102.2	2.3	97.3	0.1

北陸地域 鉱工業生産指数



全国 鉱工業生産指数



1. 生産

(1) 化学工業

医薬品などが減少したことから、前月比は14.6%減と2か月ぶりに低下。

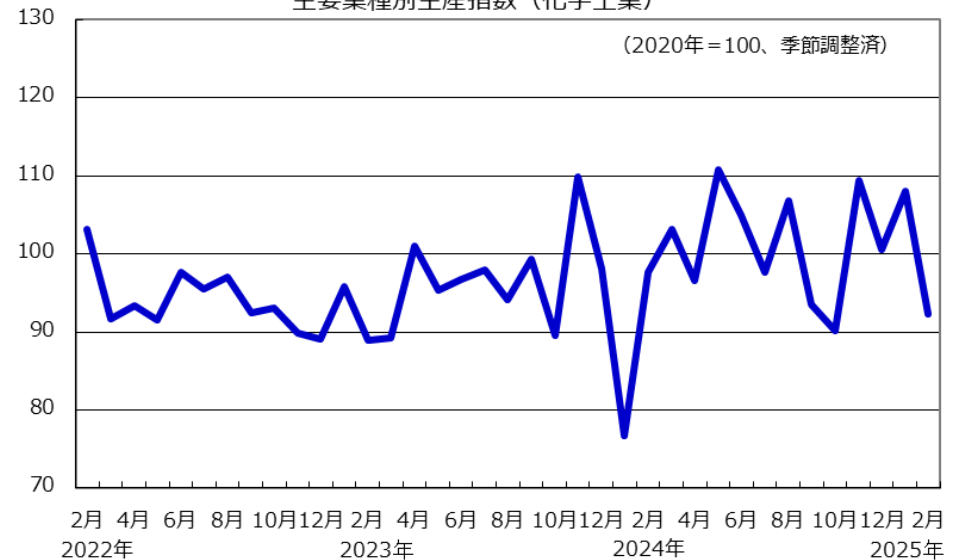
季節調整済指数		前月比	原指数	前年 同月比
2025年 1月	2025年 2月p		2025年 2月p	
108.1	92.3	▲ 14.6	93.7	0.3

(2) 電子部品・デバイス工業

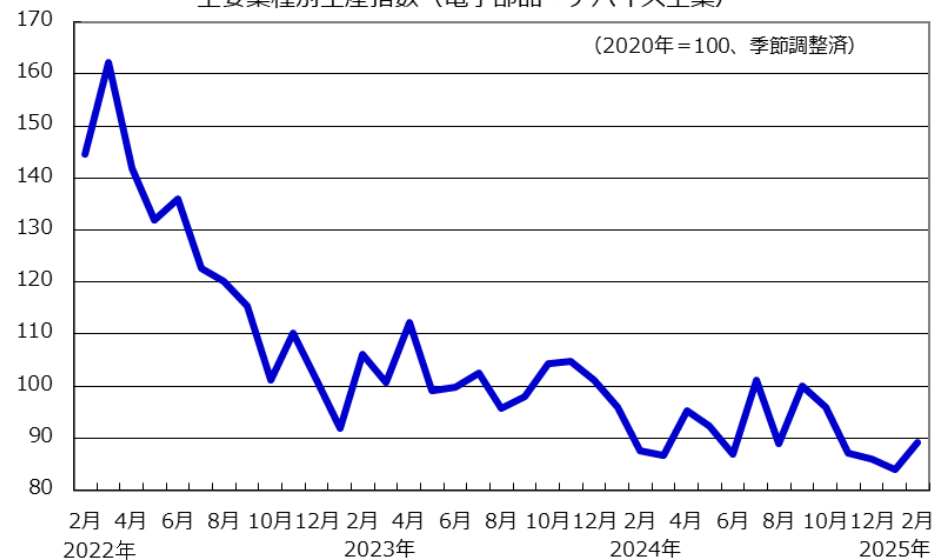
電子デバイスなどが増加したことから、前月比は6.2%増と5か月ぶりに上昇。

季節調整済指数		前月比	原指数	前年 同月比
2025年 1月	2025年 2月p		2025年 2月p	
84.0	89.2	6.2	80.7	▲ 5.6

主要業種別生産指数（化学工業）



主要業種別生産指数（電子部品・デバイス工業）



1. 生産

(3) 生産用機械工業

半導体製造装置などが増加したことから、前月比は6.5%増と2か月ぶりに上昇。

季節調整済指数		前月比	原指数	前年 同月比
2025年 1月	2025年 2月p		2025年 2月p	
100.1	106.6	6.5	113.8	▲ 19.0

(4) 金属製品工業

建設用金属製品などが減少したことから、前月比は1.7%減と5か月連続で低下。

季節調整済指数		前月比	原指数	前年 同月比
2025年 1月	2025年 2月p		2025年 2月p	
93.4	91.8	▲ 1.7	84.9	▲ 11.1

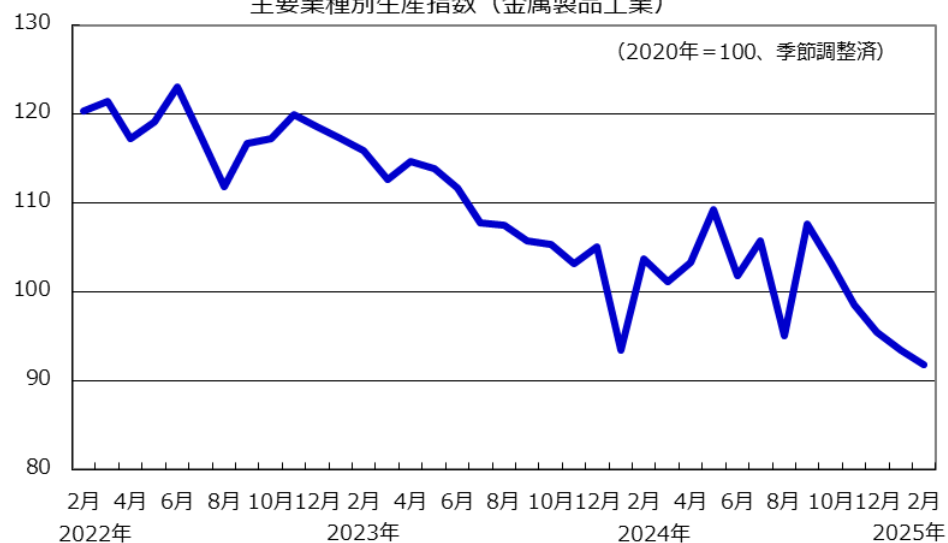
主要業種別生産指数（生産用機械工業）

(2020年=100、季節調整済)



主要業種別生産指数（金属製品工業）

(2020年=100、季節調整済)

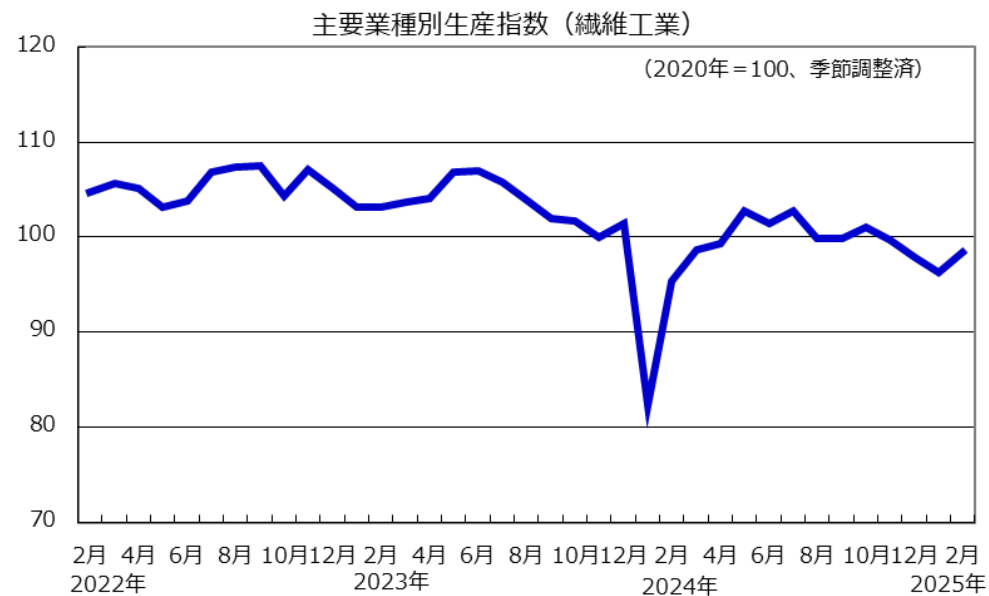


1. 生産

(5) 繊維工業

繊維などが増加したことから、前月比は
2.2%増と4か月ぶりに上昇。

季節調整済指数		前月比	原指数	前年 同月比
2025年 1月	2025年 2月p		2025年 2月p	
96.3	98.4	2.2	96.5	▲ 3.1



2. 個人消費

個人消費は、緩やかに改善している。

2月の商業動態統計小売6業態販売額（全店ベース（速報値））は、前年同月比2.1%増と36か月連続で前年を上回った。

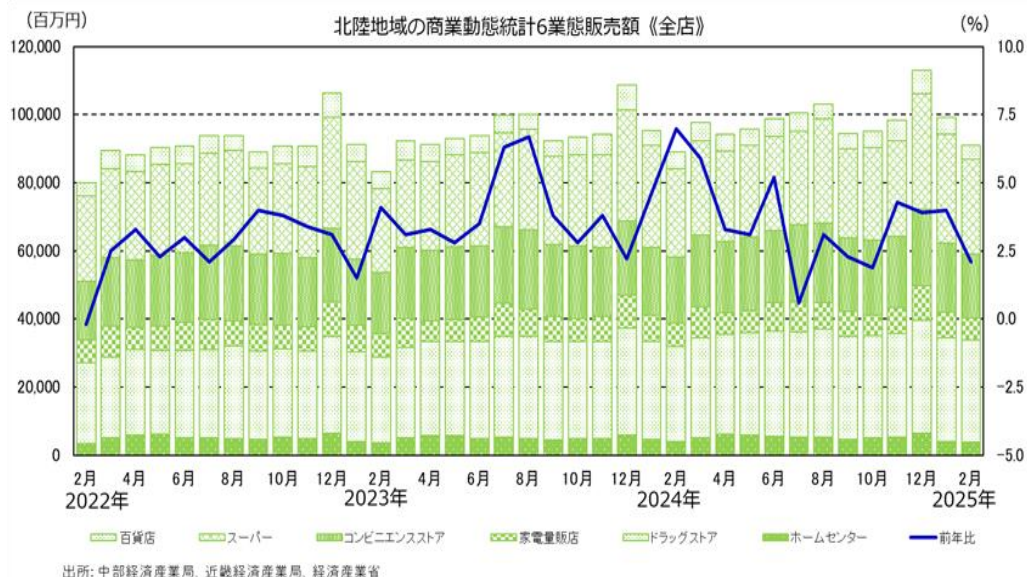
なお、前年がうるう年であったことによる営業日数の減少や大雪による影響がみられた。

百貨店は、春物衣料が振るわず。スーパーは、飲食料品の値上げに加え、米や野菜の相場高の影響がみられた。コンビニエンスストアは、前年の能登半島地震による需要の反動がみられた。家電大型専門店は、前年の能登半島地震による買い換え需要の反動がみられた。ドラッグストアは、新規出店効果に加え、飲食料品や保湿化粧品が好調。ホームセンターは、前年の能登半島地震による災害需要の反動がみられた。

乗用車新規登録台数は2か月連続で前年を上回り、生産停止していた一部車種の生産が再開した。

以上のことから、判断を据え置き1か月連続で「緩やかに改善している」とした。

2月速報値	販売額：百万円 （全店）	前年同月比（全店）
百貨店	4,165	▲ 15.4
スーパー	27,811	7.2
コンビニエンスストア	18,734	▲ 3.1
家電大型専門店	6,517	▲ 5.8
ドラッグストア	29,914	7.1
ホームセンター	3,857	▲ 4.8
合計	90,998	2.1



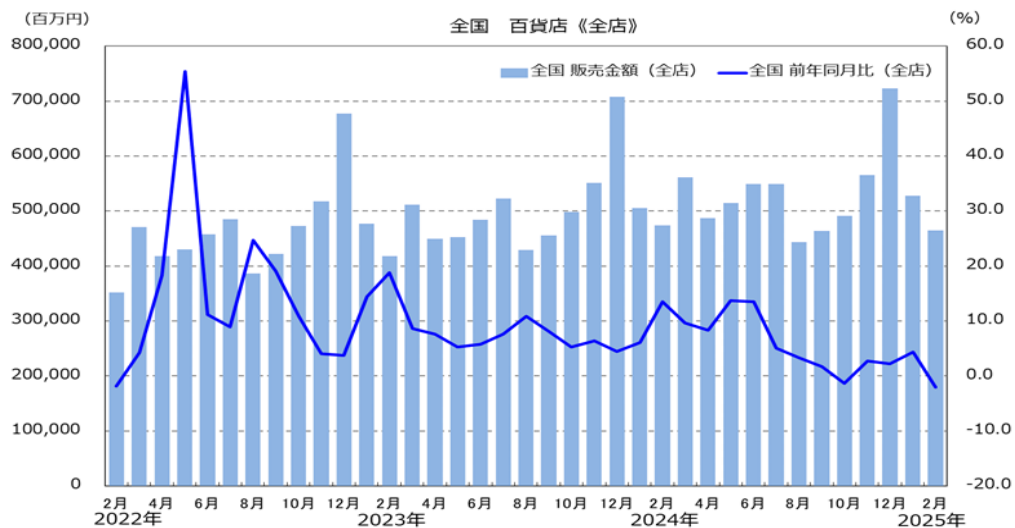
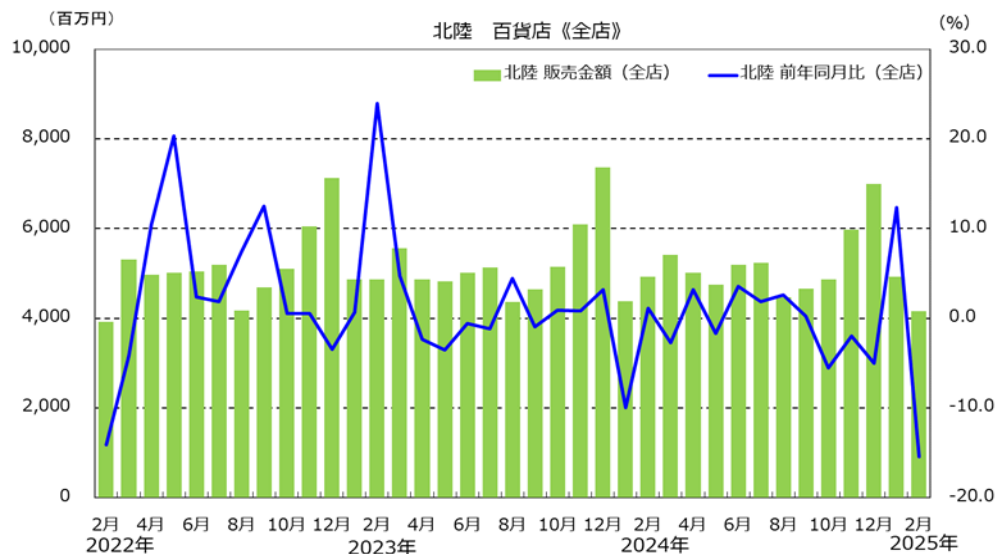
2. 個人消費

(1) 百貨店販売額

百貨店は、2か月ぶりに前年を下回った。

北陸 2月速報値	販売額：百万円 (全店)	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
百貨店	4,165	▲ 15.4	▲ 15.4

全国 2月速報値	販売額：百万円 (全店)	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
百貨店	464,691	▲ 2.0	▲ 1.7

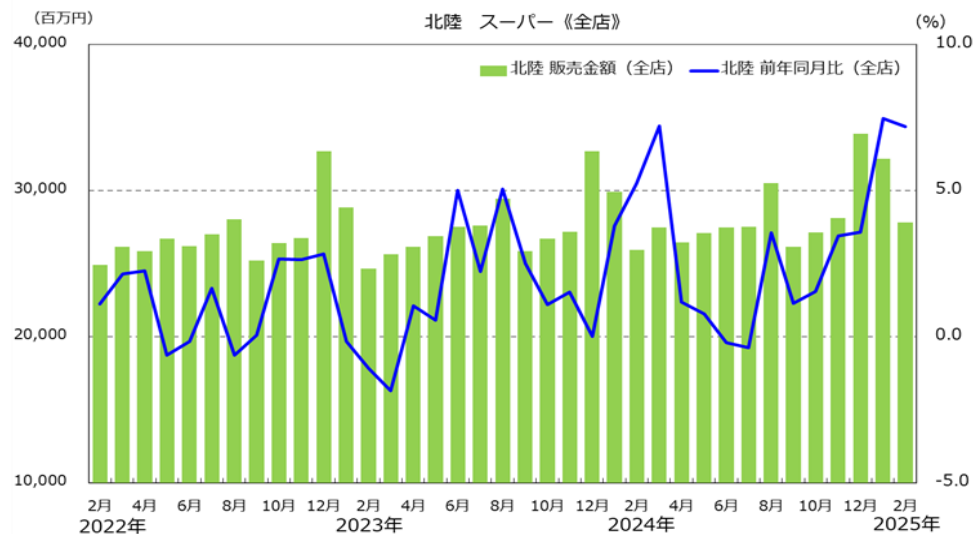


2. 個人消費

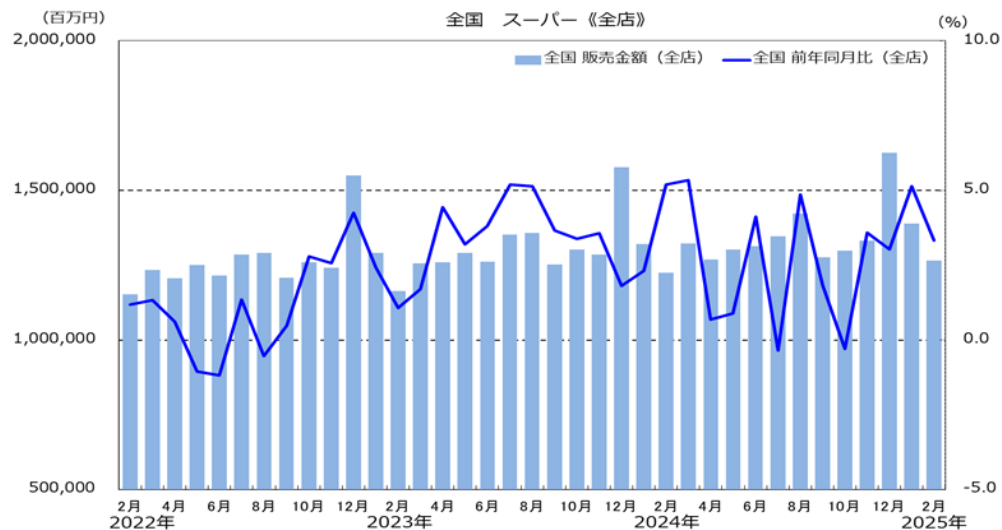
(2) スーパー販売額

スーパーは、7か月連続で前年を上回った。

北陸 2月速報値	販売額：百万円 (全店)	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
スーパー	27,811	7.2	0.5



全国 2月速報値	販売額：百万円 (全店)	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
スーパー	1,265,572	3.3	1.6



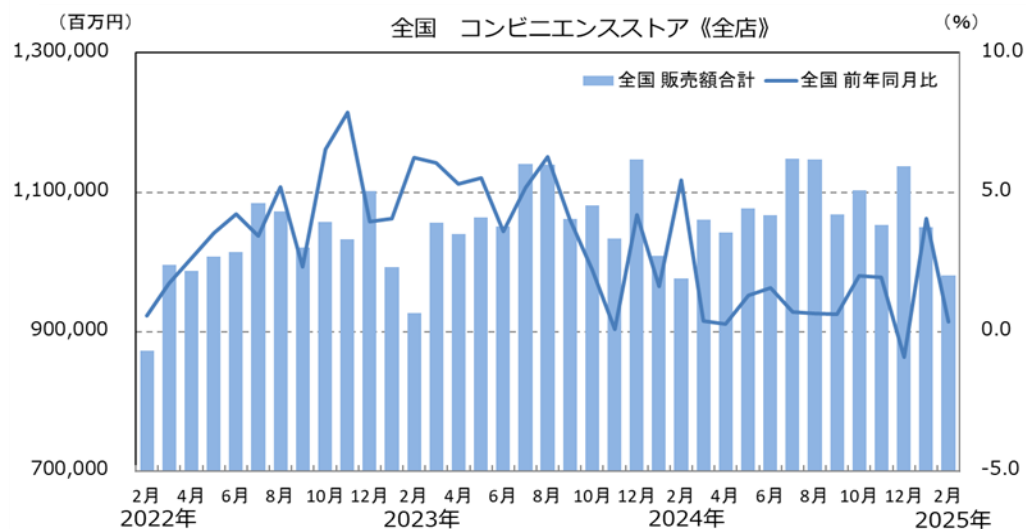
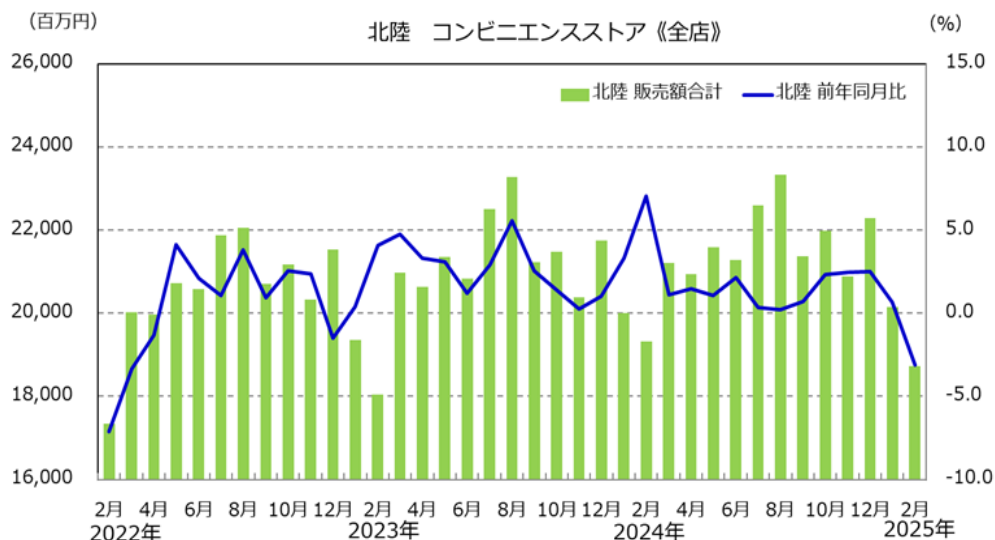
2. 個人消費

(3) コンビニエンスストア販売額

コンビニエンスストアは、26か月ぶりに前年を下回った。

北陸 2月速報値	販売額：百万円 (全店)	前年同月比 (全店)
コンビニエンスストア	18,734	▲ 3.1

全国 2月速報値	販売額：百万円 (全店)	前年同月比 (全店)
コンビニエンスストア	980,154	0.3



注) 上の2つのグラフについては、2021年3月から調査対象事業所の見直しを行ったため、これらに関わる前年同月比については、リンク係数で処理した数値で計算し、不連続を解消している。

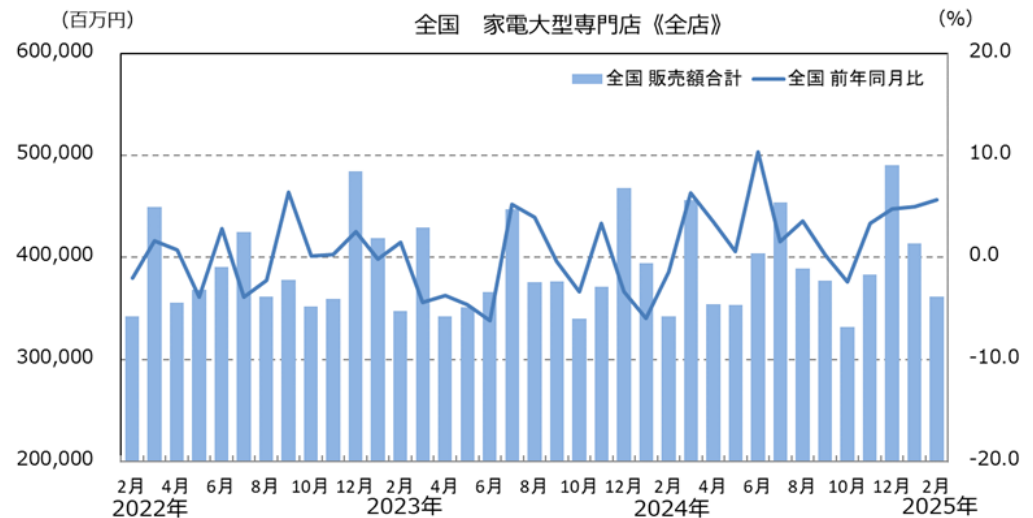
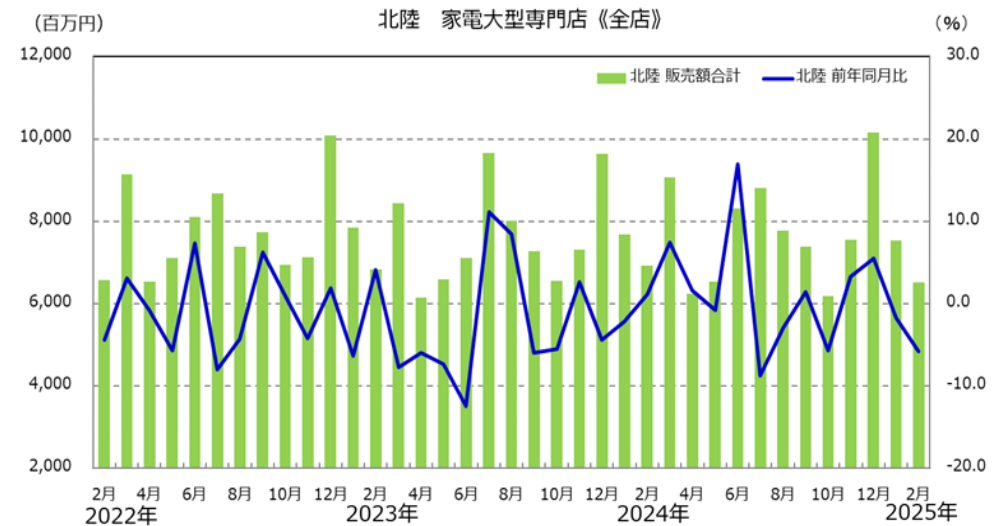
2. 個人消費

(4) 家電大型専門店販売額

家電販売は、2か月連続で前年を下回った。

北陸 2月速報値	販売額：百万円 (全店)	前年同月比 (全店)
家電大型専門店	6,517	▲ 5.8

全国 2月速報値	販売額：百万円 (全店)	前年同月比 (全店)
家電大型専門店	361,589	5.6



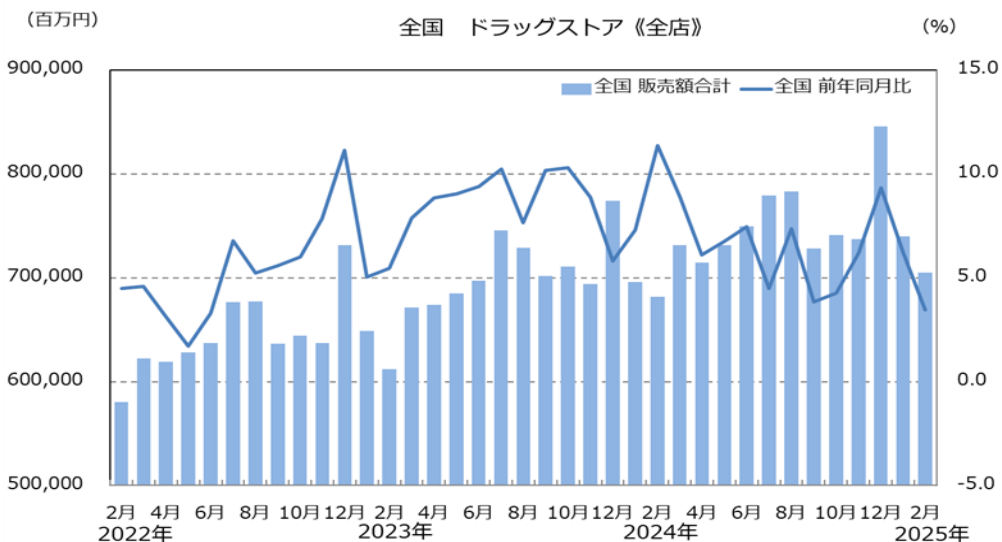
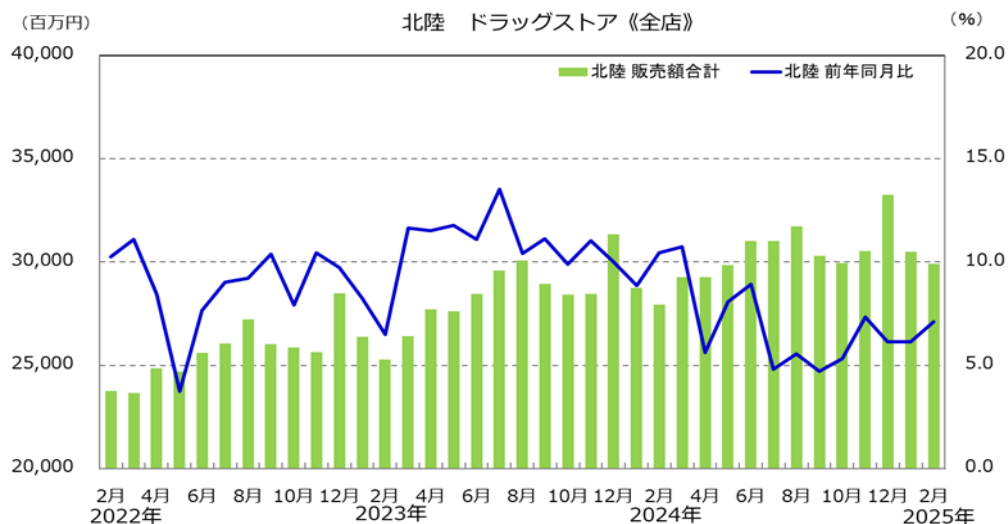
2. 個人消費

(5) ドラッグストア販売額

ドラッグストアは、46か月連続で前年を上回った。

北陸 2月速報値	販売額：百万円 (全店)	前年同月比 (全店)
ドラッグストア	29,914	7.1

全国 2月速報値	販売額：百万円 (全店)	前年同月比 (全店)
ドラッグストア	705,138	3.5



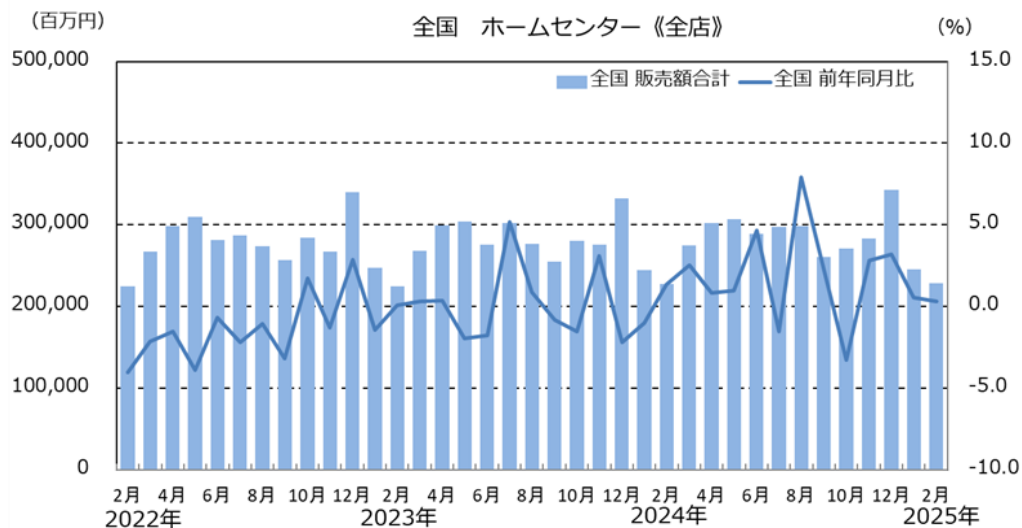
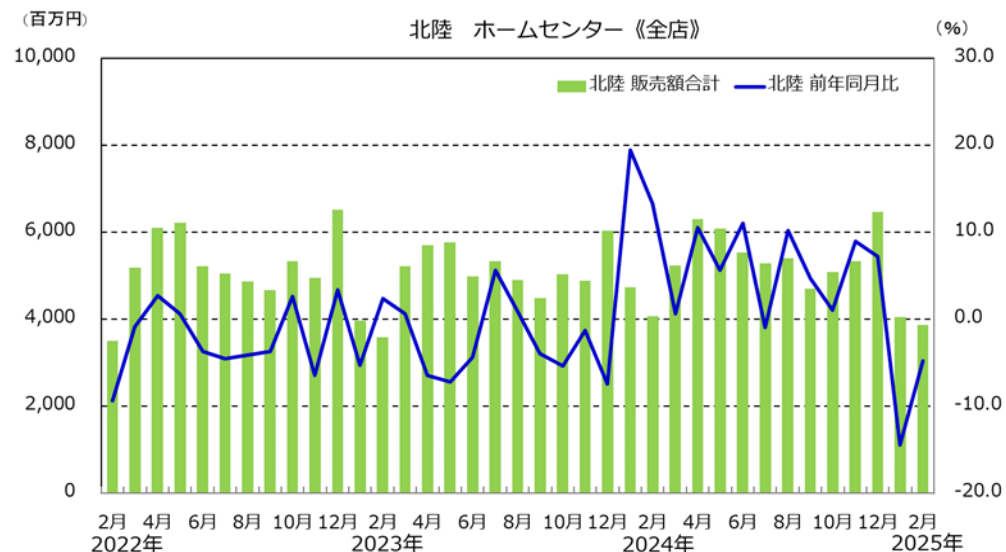
2. 個人消費

(6) ホームセンター販売額

ホームセンターは、2か月連続で前年を下回った。

北陸 2月速報値	販売額：百万円 (全店)	前年同月比 (全店)
ホームセンター	3,857	▲ 4.8

全国 2月速報値	販売額：百万円 (全店)	前年同月比 (全店)
ホームセンター	228,583	0.3



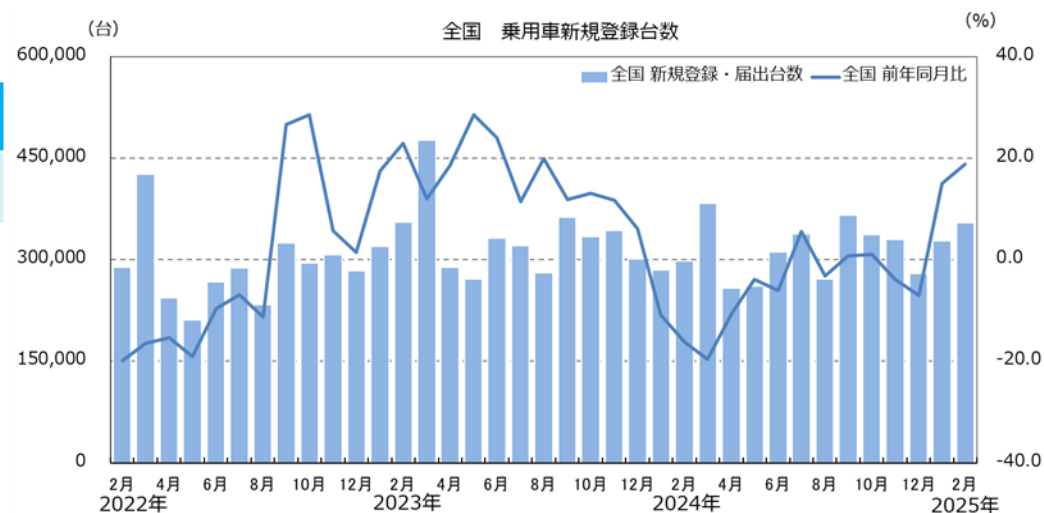
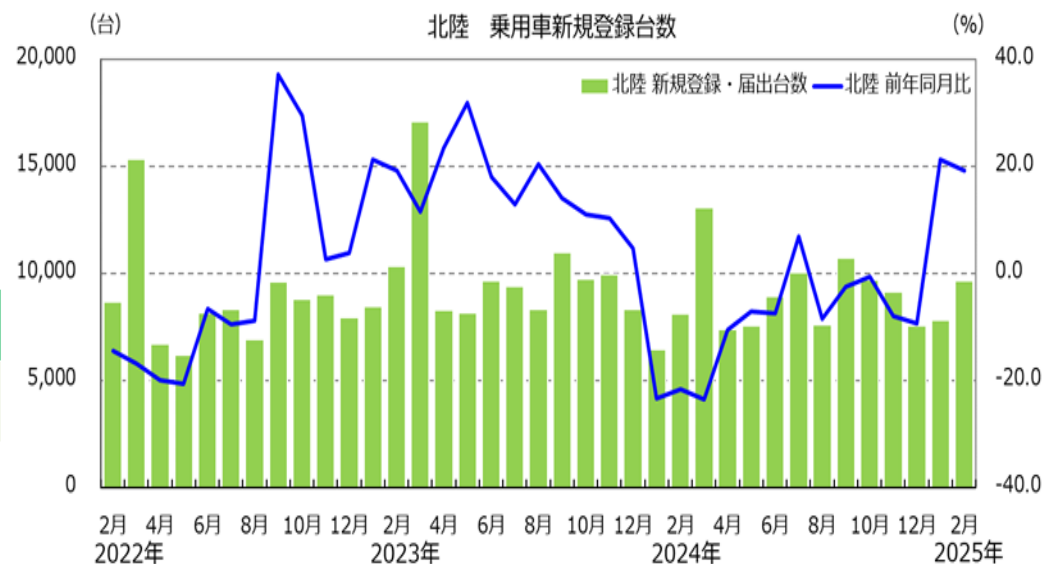
2. 個人消費

(7) 乗用車新規登録・届出台数

2か月連続で前年を上回った。

北陸 2月	新規登録・届出台数	前年同月比
乗用車	9,666	19.2

全国 2月	新規登録・届出台数	前年同月比
乗用車	354,135	18.9



(出所) (一社) 日本自動車販売協会連合会、(一社) 全国軽自動車協会連合会

3. 設備投資

設備投資は、全産業、非製造業では前年度を上回り、製造業では前年度を下回る計画となっている。

北陸地域の設備投資計画等

(前年度比・%)

	2023年度実績	2024年度計画	2025年度計画
全産業	14.6	13.8	0.5
製造業	26.8	21.4	▲ 1.1
非製造業	3.0	4.9	2.6

(出所) 日本銀行金沢支店(北陸短観2025年3月調査)

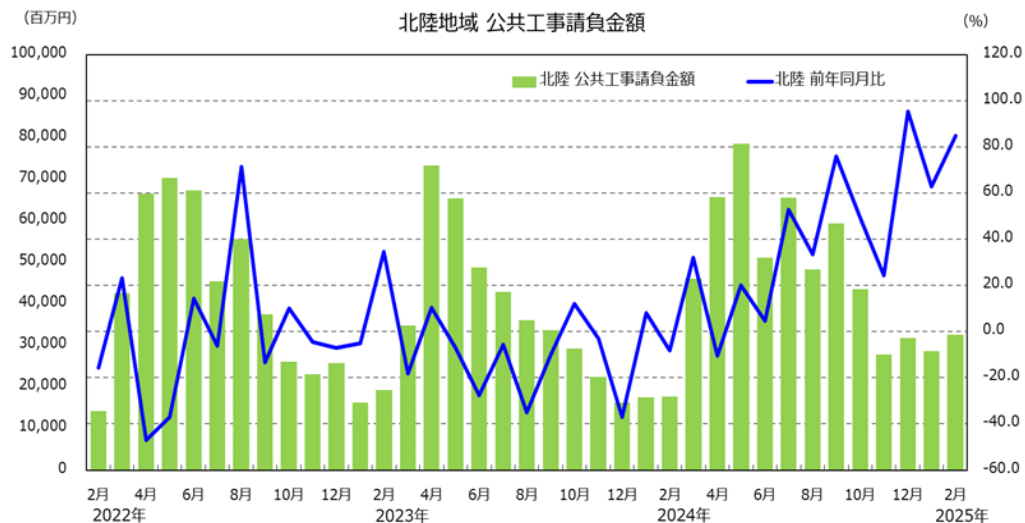
(注1) 調査対象企業は、資本金2千万円以上の民間企業(「金融機関」及び「経営コンサルタント業、純粋持株会社」を除く)。

(注2) ソフトウェア投資額・研究開発投資額を除くベース。

4. 公共投資

請負金額は、10か月連続で前年を上回った。

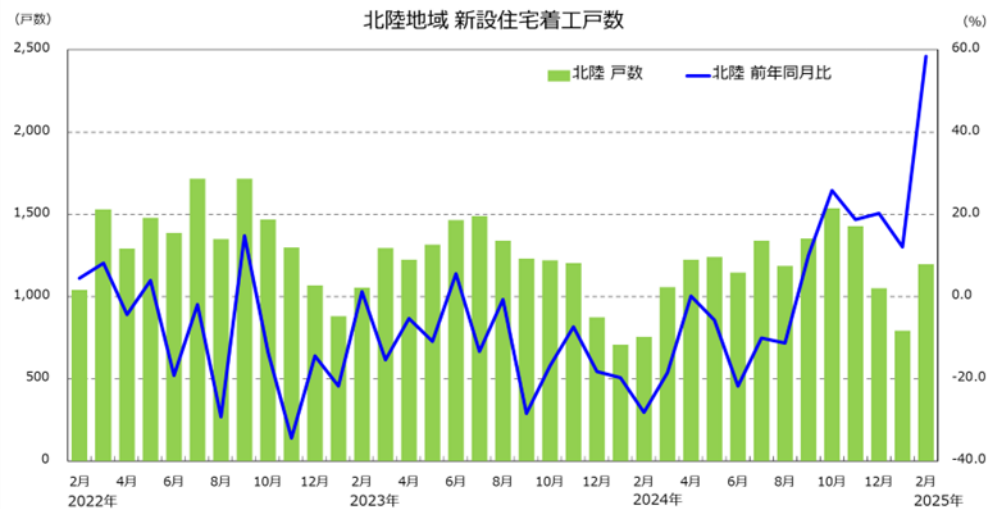
2月	総額 (百万円)	前年同月比
公共工事請負金額	32,675	85.0



5. 住宅投資

新設住宅着工戸数は、6か月連続で前年を上回った。

2月	戸数	前年同月比
新設住宅着工戸数	1,198	58.5



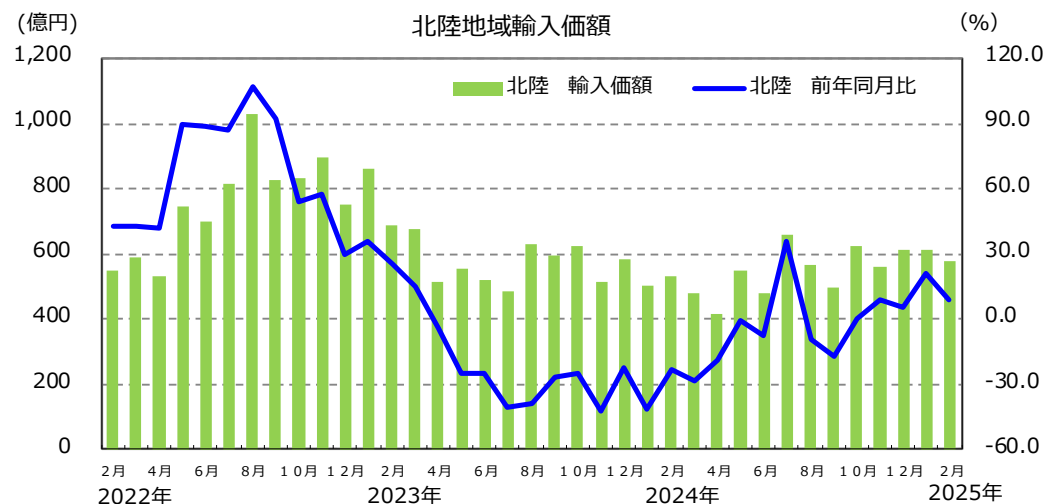
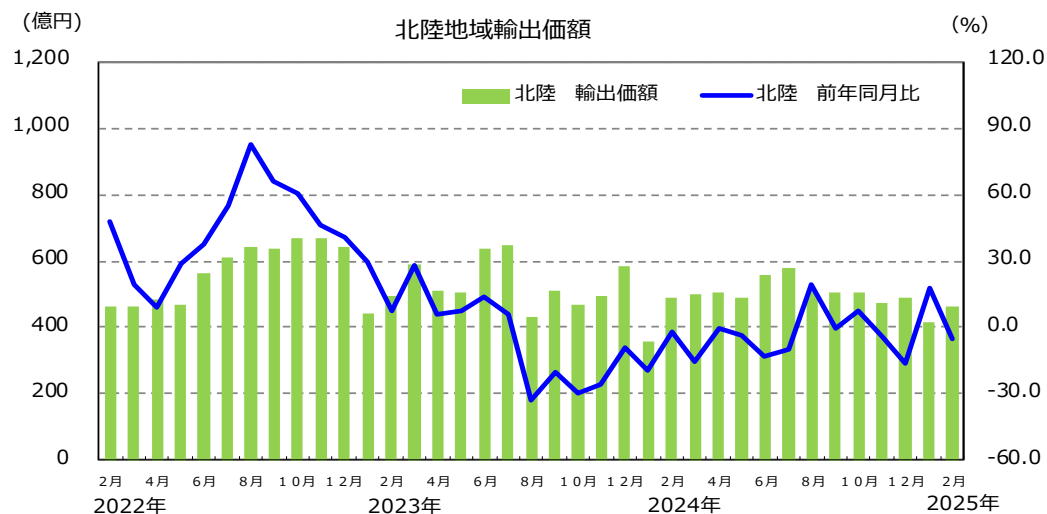
6. 貿易

(1) 輸出
2か月ぶりに前年を下回った。

2月	輸出価額 (億円)	前年 同月比
北陸地域	463	▲ 4.9

(2) 輸入
5か月連続で前年を上回った。

2月	輸入価額 (億円) p	前年 同月比
北陸地域	575	8.4

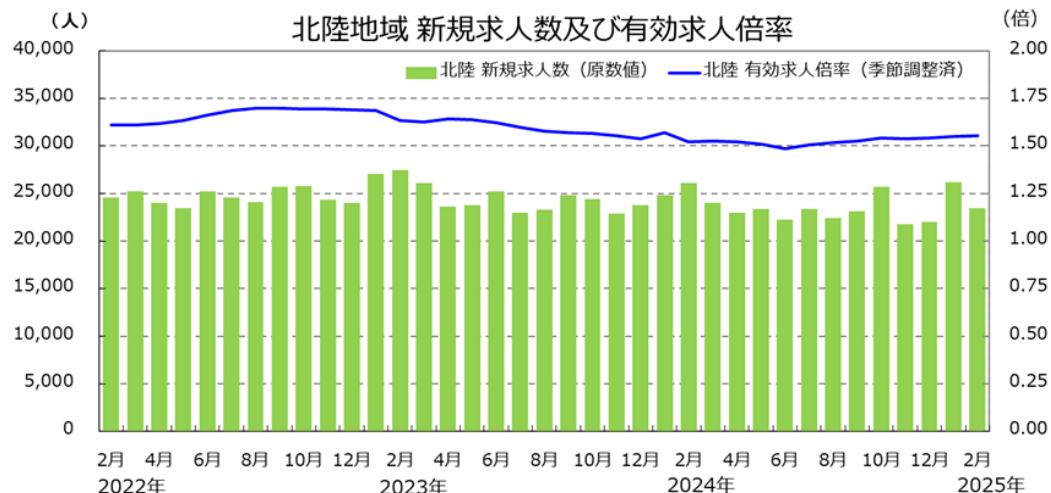


出所) 大阪税関

7. 雇用

新規求人数は、2か月ぶりに前年を下回り、有効求人倍率は前月と同値であった。

2月	上段：倍率 下段：人数	前年同月比
有効求人倍率	1.55	—
新規求人数	23,426	▲ 10.4



8. 企業倒産

企業倒産件数は、5か月ぶりに前年を下回った。

2月	件数	前年同月比
企業倒産件数	14	▲ 30.0

